

2024年度

# 専攻科学生募集要項

## 入学案内

(出願書類添付)

試験区分	出願期間	試験日
推薦による選抜	2023年5月12日(金)～5月17日(水)	5月27日(土)
社会人特別選抜	2023年5月12日(金)～5月17日(水)	5月27日(土)
学力による選抜	2023年6月13日(火)～6月16日(金)	7月1日(土)

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、学生募集要項の内容に変更が生じる場合がございます。変更が決定しましたら、本校ホームページ上で告知しますので、ご確認をお願いいたします。

独立行政法人国立高等専門学校機構

## 佐世保工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, SASEBO COLLEGE

〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号

電話 (0956) 34-8428(学生課入試担当)

FAX (0956) 34-8425(学生課)

E-mail nyusi@sasebo.ac.jp

URL <https://www.sasebo.ac.jp/>

## 【専攻科の教育目的】

- ① 工学の基礎および専門分野に関する知識を教授し、創造性豊かな応用力を養成する。
- ② 地球的視点でものごとを考える素養および能力と、科学技術が自然や社会に及ぼす影響を理解できる人間としての倫理観を養成する。
- ③ 日本語による技術的な内容の説明・討論ができる能力と国際社会を意識した英語によるコミュニケーション基礎能力を養成する。
- ④ 他の専門技術分野に関する基礎知識と最新の知識を教授し、複合化・高度化した工学分野について複眼的な課題探求能力と問題解決能力を養成する。
- ⑤ 自主的・継続的に学習でき、協調して行動できる能力を養成する。

受験生の皆さんへ

## 佐世保工業高等専門学校専攻科における入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

### ■複合工学専攻

専攻科複合工学専攻では次のような人材を求めます。

1. 科学と工学の基礎的学力を十分身につけている人
2. 社会性と倫理観を身につける意欲を持っている人
3. 基礎的なコミュニケーション能力を身につけている人
4. 複眼的かつ実践的能力を身につける意欲を持つ人
5. 地域及び国際社会の発展のため、技術者として自主的に行動する意欲を持つ人

## 佐世保工業高等専門学校専攻科における教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

### ■複合工学専攻

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために、高度科学技術の中核を担う専門職業人としての教養と専門基礎知識を有する技術者の養成を以下の内容で行う。

1. 理数系の基礎・応用力、豊かな教養と人間性、国際性を育むための数学（数理科学）や一般化学などの共通基礎科目および現代物理などの専門基礎科目
2. 地球的視点と技術者倫理に関する科目：日本語表現法、総合英語、応用コミュニケーションなどの語学教育により、国際的に通用するコミュニケーション能力を養う科目。産業経済と技術者倫理、環境論、国際関係論などにより地球的視野で技術と社会の共生を追求しグローバルな視点をもつ技術者を育成する科目
3. 課題解決能力育成科目：技術者総合ゼミ、総合創造実験、総合創造演習などにより4つの系の専門分野をコラボレートし、システム創成能力と複眼的な問題解決能力を養う複合科目。特別研究などにより、基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を探究し解決できる能力、自主性や協調性、等を総合的に育成するための科目
4. 各工学系および産業数理技術者育成プログラムの、基礎・専門に関する知識と技術を習得する専門科目

※ 本校のディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）については、本校ホームページをご覧ください。

# 目 次

## 学 生 募 集 要 項

I. 募集人員	1	5. その他の注意事項	11
II. 選抜方法	1	6. 合格者の発表	11
III. 推薦による選抜		7. 入学手続	11
1. 出願資格	1	8. 入学確約書の提出	11
2. 出願区分	2	V. 社会人特別選抜	
3. 出願手続	2	1. 出願資格	12
4. 選抜の方法	4	2. 出願区分	12
5. その他の注意事項	4	3. 出願手続	12
6. 合格者の発表	4	4. 選抜の方法	14
7. 入学手続	4	5. その他の注意事項	14
8. 入学確約書の提出	4	6. 合格者の発表	14
9. 「推薦による選抜」の結果、合格 とならなかった場合の取扱い	4	7. 入学手続	14
10. 九州大学との連携教育プログラム について	6	8. 入学確約書の提出	14
IV. 学力による選抜		VI. 受験者心得	14
1. 出願資格	8	VII. 個人情報の取り扱いについて	15
2. 出願区分	8	VIII. 募集要項等の請求	15
3. 出願手続	8	IX. 入学検定料を郵便局(ゆう ちょ銀行)から振り込む場合の注 意点	16
4. 選抜の方法	10		

## 入 学 案 内

1. 設 置	17	7. 学士の学位の取得方法	22
2. 佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム	17	8. 入学時に必要な諸経費	23
・出願資格とJABEEプログラム修了要件について	19	9. 入学料・授業料の免除及び 徴収猶予制度	23
3. 産業数理技術者育成プログラム	20	10. 奨学金制度	23
4. 専攻名及び入学定員	21	11. 教育課程	24
5. 修 了 要 件	21		
6. 各専門分野(工学系)の内容	22		

## 添 付 書 類

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ○ 入 学 願 書           | ○ 調査書                |
| ○ 受験票及び写真票(推薦選抜)    | ○ 専攻科志望理由書           |
| ○ 受験票及び写真票(学力選抜)    | ○ 英語資格試験取得申請書        |
| ○ 受験票及び写真票(社会人特別選抜) | ○ 志願承認書              |
| ○ 推薦書(学校長推薦選抜)      | ○ 振込書                |
| ○ 推薦書(社会人特別選抜)      | ○ 振込書(連携教育プログラム受験者用) |

## 2024年度

# 佐世保工業高等専門学校専攻科学生募集要項

## I. 募集人員

複合工学専攻 16名

## II. 選抜方法

本校専攻科は特例適用専攻科に対応しています。修了時の学位取得の専門区分は、（機械工学）（電気電子工学）（情報工学）（応用化学）で構成される専攻科になります。従って、本科において上記4つの専門区分の卒業生が受け入れ対象となります。

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力による選抜及び社会人特別選抜とし、下記の日程で行います。

なお、各選抜とも、4つの専門分野（工学系）に分けて面接及び試験等を実施します。

### 記

選 抜 区 分	選 抜 期 日	選 抜 人 数
推薦による選抜	2023年5月27日（土）	8名程度
社会人特別選抜	2023年5月27日（土）	若干名
学力による選抜	2023年7月1日（土）	8名程度

## III. 推薦による選抜

### 1. 出願資格

2024年3月高等専門学校卒業見込の者で、次の要件を満たし在籍学校長が責任をもって推薦する者としてします。

（1）第3学年と第4学年の成績が原則として在籍したクラスの上位2分の1以内である者又は技術士第一次試験に合格した者。

（2）選抜期日から起算して2年以内に取得した TOEIC 公開テスト又は TOEIC IP テストのスコアが 350 点以上の者。

※ 出願に際しては、19 頁「出願資格と JABEE プログラム修了要件について」を参照してください。

JABEE についての詳細は、17 頁「佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム」を参照してください。

## 2. 出願区分

A 群	本校が定める出願資格を有している者で、 ・「佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム」を修得している者及び 2024 年 3 月に修得見込みの者。 ・他の教育機関で JABEE 認定コースを修得している者及び 2024 年 3 月に修得見込みの者。
B 群	本校が定める出願資格を有している者で、A 群以外の出願者。

注 1) 「『佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム』を修得している者」とは、2003 年 3 月以降に本校を卒業し、同プログラムを修得した者を示します。

注 2) JABEE についての詳細は、17 頁「佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム」を参照してください。

## 3. 出願手続

### (1) 願書受付

期 間	2023 年 5 月 12 日（金）から 5 月 17 日（水）まで（必着）とします。
時 間	8 時 30 分から 17 時まで。（土・日曜日及び祝日は受け付けません。）
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町 1 番 1 号 佐世保工業高等専門学校 学生課入試担当

### (2) 出願に必要な書類等

入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
写真票 及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。 写真は、正面上半身脱帽で出願 3 か月以内に撮影したもの。
調査書	本校所定の用紙に在籍学校長が作成し、厳封したもの。
推薦書	本校所定の用紙に在籍学校長が作成したもの。
志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
技術士第一次試験合格証等	技術士第一次試験合格証又は成績通知書のコピー（該当者のみ）
TOEIC スコアシート	TOEIC 公開テスト又は TOEIC IP テストで 350 点以上のスコアを取得していることを証明できるスコアシート。
入学検定料	16,500 円 ただし、九州大学との連携教育プログラムの受験者は 30,000 円となります。詳細は 6 頁をご確認ください。本校所定の様式（ゆうちょ銀行についてはゆうちょ銀行専用の振込依頼書）により出願する本人の名

	<p>前で、各種銀行の窓口から振り込んでください。振り込み後「検定料納付証明書」を入学願書の所定の欄に貼付してください。（ゆうちょ銀行からの振り込みの場合は「振込依頼書（お客さま控）」を貼付してください。）</p> <p>① 振込期間 2023年4月19日(水)～5月17日(水)</p> <p>振込の際は銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。なお、検定料を願書受付最終日に振込む場合は、最終日17時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p> <p>② 振込場所 各種銀行の受付窓口（ゆうちょ銀行可）で必ず振り込んでください。 ※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。 ※ゆうちょ銀行での振込手続きについては16頁を参照してください。</p> <p>③ 振込方法等 ア. 振込時に別途必要な振込手数料は、出願者本人の負担となります。 イ. 「振込書」の※に、出願者の住所、氏名（フリガナ）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。 ウ. 「検定料納付証明書」を各種銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認してください。</p>
返信用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に344円切手（速達料を含む。）を貼ったものを同封してください。（願書持参の場合は不要）
その他	外国人志願者は、居住する市区町村長発行の「住民票」を提出してください。

### （3）出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、受付期間に持参又は郵送してください。ただし、郵送する場合は書留郵便として**受付期間の最終日必着**となりますので注意してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。  
また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、返還しません。
  - 出願書類を提出しなかった場合又は提出したが受理されなかった場合
  - 誤って二重に払い込んだ場合

### （4）障害等を理由とした合理的配慮の提供に関して

入学志願予定者で、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課入試担当までご相談ください。

#### 4. 選抜の方法

入学者の選抜は、在籍学校長から提出された推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）の総合判定とします。

##### 選抜の日時及び場所

期 日	時 間	科目等	場 所
5月27日(土)	9:00	集 合	佐世保工業高等専門学校 (指定する場所に、集合してください。)
	9:30～	面 接	

#### 5. その他の注意事項

- (1) 出願書類提出後、住所(郵便受取先)を変更した場合は、直ちに本校学生課入試担当に届け出てください。
- (2) 選抜当日は、受験票、筆記用具を持参してください。

#### 6. 合格者の発表

2023年6月1日(木) 午前10時

合格者は合格発表後、受験者本人及び在籍する学校長宛に文書で通知します。また、合格者の受験番号を本校ホームページでも発表します。

(<https://www.sasebo.ac.jp/>)

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

#### 7. 入学手続

合格者に、別途通知します。

#### 8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を2023年6月16日(金)17時必着で、佐世保工業高等専門学校学生課入試担当へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

#### 9. 「推薦による選抜」の結果、合格とならなかった場合の取扱い

「推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力による選抜」を希望す



る者は、「学力による選抜」の募集要項により、再度、必要な書類等を整えて、出願期間内に手続きを行ってください。

ただし、「調査書」の提出は要しませんが、検定料は必要です。

区 分	出 願 期 間
学力による選抜	2023年6月13日（火）～6月16日（金）

## 10. 九州大学との連携教育プログラムについて

### (1) 概要

2023年度より佐世保工業高等専門学校専攻科へ入学する学生を対象に、九州大学工学部融合基礎工学科と本校専攻科にて修学する履修プログラムコースを実施しております。(以下「連携教育プログラム」という。)

連携教育プログラムの学生は、本校専攻科と九州大学双方へ在籍し、双方の教育課程(連携教育プログラム用)を受講します。

プログラム所定の課程を修了した者は、九州大学からの卒業証書(学士の学位記)ならびに佐世保工業高等専門学校専攻科からの修了証書が交付されます。

### (2) 募集人員

九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム 若干名

### (3) 出願資格

- ・本校専攻科の推薦による選抜試験に合格し、入学確約書を所定の期日までに提出した者のうち、学校長の推薦を受けた者
- ・九州大学研究室へのインターンシップに参加し、願書出願時に研究指導予定教員から受入の了解を得ている者

### (4) 出願手続

#### ①佐世保工業高等専門学校専攻科入学者選抜(推薦選抜)

「Ⅲ. 推薦による選抜」の「3. 出願手続」によるものとし、専攻科入学願書の「選抜区分」「連携教育プログラムの受験希望」の「有」に○をつけること。

ただし入学検定料の額(九州大学入学者選抜に係る検定料を含み、30,000円です。)及び「振込書」の用紙については専攻科入学者選抜用とは異なりますので、ご注意ください。

#### ②九州大学入学者選抜

「令和6(2024)年度九州大学工学部編入学 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム特別選抜 学生募集要項」(以下、「九大募集要項」という。)によるものとします。

### (5) 選抜の方法

九州大学は、(3)出願資格の要件を満たす者を対象に、試験を実施します。

- ・出願期間：対象者に別途通知します。
- ・選抜方法：口頭試問と提出書類による総合判定

### (6) 合格者の発表

九大募集要項によるものとします。

### (7) 入学手続

合格者に別途通知します。

#### (8) 「九州大学入学者選抜」の結果、合格とならなかった場合の取扱い

九州大学入学者選抜の結果、合格とならなかった者は本校専攻科への入学が決定します。

#### (9) 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- ①入学後の教育・指導
- ②入学料、授業料の免除申請の審査
- ③奨学金申請の審査
- ④単位相互認定を目的とした九州大学への情報提供
- ⑤本校及び九州大学、国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

#### (10) 入学時に必要な諸経費

検定料	30,000円	(本校に納付)
入学料	282,000円	(九州大学に納付)
授業料(年額)	535,800円	(九州大学に納付)

#### (11) 留意事項

- ・本プログラム選抜に合格した者は、本校専攻科への入学者及び九州大学工学部融合基礎工学科第3年次編入学者となります。
- ・修業年限は2年間です。原則、1年目は本校にて修学、2年目は九州大学にて修学することとなります。ただし、科目によっては原則と異なる場合があります。
- ・本プログラム履修生は、日本技術者教育認定機構(JABEE)が認める「複合型もの創り工学」教育プログラムの対象外となります。

※ 連携教育プログラム及び入学者選抜の詳細については、九大募集要項を参照してください。

## IV. 学力による選抜

### 1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は2024年3月高等専門学校を卒業見込みの者。
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入することができる者。
- (3) 短期大学を卒業した者又は2024年3月短期大学を卒業見込みの者。
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者又は2024年3月専修学校の専門課程を修了見込みの者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者。
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者。
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者。
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (8) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※ 出願に際しては、19頁「出願資格とJABEEプログラム修了要件について」を参照してください。JABEEについての詳細は、17頁「佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム」を参照してください。

### 2. 出願区分

推薦による選抜に同じです。（2頁を参照してください。）

### 3. 出願手続

#### (1) 願書受付

期 間	2023年6月13日（火）から6月16日（金）まで（必着）とします。
時 間	8時30分から17時まで。（土・日曜日及び祝日は受け付けません。）
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校 学生課入試担当

#### (2) 出願に必要な書類等

入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
写 真 票 及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。 写真は、正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したもの。
調 査 書	本校所定の用紙に出身（在籍）学校長が作成し、厳封したもの。
志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
英語資格試験 取得申請書	本校所定の用紙に必要事項を記入し、TOEIC（TOEIC IPを含む）のスコアシート又は英検合格証書のコピーを添付すること。 ① 実用英語技能検定2級以上の合格証書のコピー。

	<p>② 選抜期日から起算して2年以内に取得した TOEIC 公開テスト又は TOEIC IP テストのスコアシート。</p> <p>なお、英語点への換算は以下のとおりです：</p> <p>㊦ 英検 2 級以上合格の場合 100 点。</p> <p>㊧ TOEIC スコアに関しては、次の式により換算する（小数点以下は四捨五入）。</p> $\text{英語点} = (\text{TOEIC スコア} - 200 \text{ 点}) \times 0.3 + 10$ <p>（ただし、TOEIC スコア 500 点以上は 100 点で換算する。）</p>
志願承認書	本校所定の用紙に所属の長が作成したもの。（企業等の在職者のみ。）
入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の様式（ゆうちょ銀行についてはゆうちょ銀行専用の振込依頼書）により出願する本人の名前で、各種銀行の窓口から振り込んでください。振込み後「検定料納付証明書」を入学願書の所定の欄に貼付してください。（ゆうちょ銀行からの振り込みの場合は「振込依頼書（お客さま控）」を貼付してください。）</p> <p>① 振込期間</p> <p>2023年6月5日(月)～6月16日(金)</p> <p>振込の際は銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。なお、検定料を願書受付最終日に振込む場合は、最終日17時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p> <p>② 振込場所</p> <p>各種銀行の受付窓口（ゆうちょ銀行可）で必ず振込んでください。  <b>※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。</b>  <b>※ゆうちょ銀行での振込手続きについては16頁を参照してください。</b></p> <p>③ 振込方法等</p> <p>ア. 振込時に別途必要な振込手数料は、出願者本人の負担となります。  イ. 「振込書」の※に、出願者の住所、氏名（フリガナ）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。  ウ. 「検定料納付証明書」を各種銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認してください。</p>
返信用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に344円切手（速達料を含む。）を貼ったものを同封してください。（願書持参の場合は不要）
その他	外国人志願者は、居住する市区町村長発行の「住民票」を提出してください。

### (3) 出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、受付期間に持参又は郵送してください。ただし、郵送する場合は書留郵便として**受付期間の最終日必着**となりますので注意してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。  
また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、返還しません。
  - 出願書類を提出しなかった場合又は提出したが受理されなかった場合
  - 誤って二重に払い込んだ場合

**(4) 障害等を理由とした合理的配慮の提供に関して**

入学志願予定者で、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課入試担当までご相談ください。

**4. 選抜の方法**

入学者の選抜は、学力試験、英語資格試験取得申請書、調査書及び面接の総合判定とします。

**(1) 選抜の日時及び場所**

期 日	時 間	科 目 等	場 所
7月1日(土)	9:00	集 合	佐世保工業高等専門学校 (指定する場所に集合してください。)
	9:20 ~ 10:50	専門科目	
	11:10 ~ 12:10	数 学	
	14:00 ~	面 接	

**(2) 学力試験科目及び出題分野**

科目分野	区分 (系列)	学 力 試 験 科 目 及 び 出 題 分 野	
一般科目	共 通	数 学	微積分(偏微分、重積分を含む)、線形代数、常微分方程式
専門科目	機械工学系	熱力学、流体力学、材料力学、材料学、機械工作法 (関数電卓を必ず持参すること。)	
	電気電子工学系	電気磁気学、電気回路、電子回路、電気機器、情報処理 (関数電卓を必ず持参すること。)	
	情報工学系	コンピュータ工学、電気・電子回路、電気磁気学	
	化学・生物工学系	物理化学、生化学、有機化学、無機・分析化学、化学工学 以上5科目から3科目を選択してください。 (関数電卓を必ず持参すること。)	

※ 機械工学系、電気電子工学系及び化学・生物工学系の専門科目試験については、関数電卓の使用を許可しますので、必ず持参してください。

### (3) 評価基準

#### ①学力試験及び面接の評価

学力試験の成績は、一般科目100点満点、専門科目150点満点とし、面接の成績は50点満点とします。

#### ②調査書の評価

提出された調査書の成績を本校の規定に基づいて点数に換算するとともに能力、適性を評価するための基礎資料として活用します。

## 5. その他の注意事項

- (1) 出願書類提出後、住所（郵便受取先）を変更した場合は、直ちに本校学生課入試担当に届け出てください。
- (2) 選抜当日は、受験票、筆記用具、昼食を持参してください。

## 6. 合格者の発表

2023年7月6日(木) 午前10時

合格者は合格発表後、受験者本人に文書で通知します。

また、合格者の受験番号を本校ホームページでも発表します。

(<https://www.sasebo.ac.jp/>)

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 7. 入学手続

合格者に、別途通知します。

## 8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を2023年7月31日(月)17時必着で、佐世保工業高等専門学校学生課入試担当へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

## V. 社会人特別選抜

### 1. 出願資格

所属する企業等の長が推薦する者で次のいずれかに該当し、かつ企業等就業期間が出願時において1年以上ある者。

- (1) 高等専門学校を卒業した者。
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入することができる者。
- (3) 短期大学を卒業した者。
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者。
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者。
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者。
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (8) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※ 出願に際しては、19頁「出願資格とJABEEプログラム修了要件について」を参照してください。

JABEEについての詳細は、17頁「佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム」を参照してください。

### 2. 出願区分

推薦による選抜に同じです。（2頁を参照してください。）

### 3. 出願手続

#### (1) 願書受付

期 間	2023年5月12日（金）から5月17日（水）まで（必着）とします。
時 間	8時30分から17時まで。（土・日曜日及び祝日は受け付けません。）
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校 学生課入試担当

#### (2) 出願に必要な書類等

入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
写 真 票 及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。 写真は、正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したもの。
調 査 書	本校所定の用紙に出身学校長が作成し、厳封したもの。



志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
推薦書	本校所定の用紙に所属の長が作成したもの。（企業等の在職者のみ。）
入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の様式（ゆうちょ銀行についてはゆうちょ銀行専用の振込依頼書）により出願する本人の名前で、各種銀行の窓口から振り込んでください。振込み後「検定料納付証明書」を入学願書の所定の欄に貼付してください。（ゆうちょ銀行からの振り込みの場合は「振込依頼書（お客さま控）」を貼付してください。）</p> <p>① 振込期間 2023年4月19日(水)～5月17日(水)</p> <p>振込の際は銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。なお、検定料を願書受付最終日に振込む場合は、<b>最終日17時まで</b>に出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p> <p>② 振込場所 各種銀行の受付窓口（ゆうちょ銀行可）で必ず振込んでください。 <b>※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。</b> <b>※ゆうちょ銀行での振込み手続きについては16頁を参照してください。</b></p> <p>③振込方法等 ア. 振込時に別途必要な振込手数料は、出願者本人の負担となります。 イ. 「振込書」の※に、出願者の住所、氏名（フリガナ）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。 ウ. 「検定料納付証明書」を各種銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認してください。</p>
返信用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に344円切手（速達料を含む。）を貼ったものを同封してください。（願書持参の場合は不要）
その他	外国人志願者は、居住する市区町村長発行の「住民票」を提出してください。

### （3）出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、受付期間に持参又は郵送してください。  
ただし、郵送する場合は書留郵便として**受付期間の最終日必着**となりますので注意してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。  
また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、返還しません。
  - 出願書類を提出しなかった場合又は提出したが受理されなかった場合
  - 誤って二重に払い込んだ場合

#### (4) 障害等を理由とした合理的配慮の提供に関して

入学志願予定者で、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課入試担当までご相談ください。

#### 4. 選抜の方法

入学者の選抜は、所属長から提出された推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）の総合判定とします。

##### 選抜の日時及び場所

期 日	時 間	科目等	場 所
5月27日(土)	9:00	集 合	佐世保工業高等専門学校 (指定する場所に集合して ください。)
	9:30～	面 接	

#### 5. その他の注意事項

推薦による選抜に同じ。（4頁を参照してください。）

#### 6. 合格者の発表

2023年6月1日(木) 午前10時

合格者は合格発表後、受験者本人及び所属長宛に文書で通知します。

また、合格者の受験番号を本校ホームページでも発表します。

(<https://www.sasebo.ac.jp/>)

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

#### 7. 入 学 手 続

合格者に、別途通知します。

#### 8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を2023年6月16日(金)17時必着で、佐世保工業高等専門学校学生課入試担当へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

### VI. 受験者心得

1. 試験当日は、9時までに本校に集合してください。
2. 受験票、筆記用具、昼食（「学力による選抜」受験者のみ。）を持参してください。
3. 試験当日は、試験会場の掲示の注意事項などをよく読んでおいてください。

4. 受験者は、試験開始 10 分前までに入室し、各自の受験番号と同一受験番号札の席につき、受験票を机上の受験番号札の横に置いてください。
5. 試験室には、鉛筆、シャープペン、消しゴム、腕時計（計算・翻訳機能や通信機能付きの腕時計（スマートウォッチなど）は不可）以外の物を持ち込むことはできません。ただし、機械工学系、電気電子工学系及び化学・生物工学系の専門科目試験については、関数電卓の使用を許可しますので必ず持参してください。
6. 解答用紙の指定欄には、必ず受験番号を記入してください。
7. 試験終了までは退室できません。面接試験は指示に従ってください。
8. 不正行為のあった者には、直ちに退室を命じ、以後の受験は認めません。
9. 事故などにより遅刻した場合は、試験場の事務室に届け出て、指示を受けてください。

## VII. 個人情報の取り扱いについて

1. 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
  - (1) 入学後の教育・指導
  - (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
  - (3) 奨学金申請の審査
  - (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
2. 本校合格者の氏名、住所、電話番号に限り、本校の学生の保護者からなる団体である後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。
3. 本校合格者の氏名、住所、電話番号に限り、本校の卒業生等からなる団体である同窓会からの連絡を行うために利用する場合があります。

## VIII. 募集要項等の請求

募集要項その他出願に必要な諸用紙は、本校「学生課入試担当」に請求してください。  
 なお、郵送希望の場合は下記までお問合せ下さい。

**出願関係書類の請求並びに出願に関する問い合わせ先**

〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号  
 佐世保工業高等専門学校 学生課入試担当  
 電話 (0956) 34-8428  
 FAX (0956) 34-8425  
 E-mail nyusi@sasebo.ac.jp  
 URL <https://www.sasebo.ac.jp/>



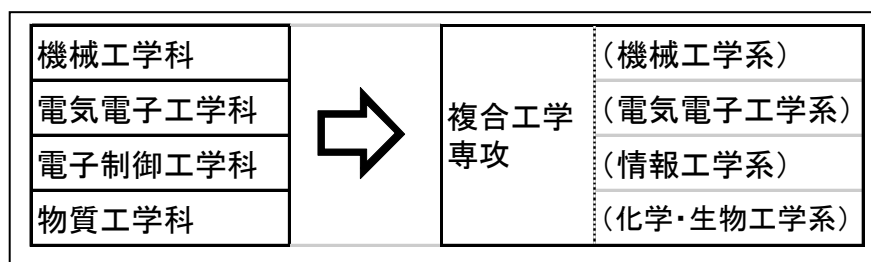
# 入 学 案 内

## 1. 設 置

近年、科学技術水準の高度化とシステム化が急速な勢いで進む中で、産業界では絶え間ない技術革新への対応を迫られているのが現状です。このような社会背景と地域社会との連携・協力として、専攻科は、

- 応用力と創造力を兼ね備えた研究開発型技術者の育成
- 社会人技術者への門戸開放と再教育の場
- 企業との共同研究を通じて研究成果の社会への還元

という重要な使命を担い、1997年度に本科の4学科に対応して3専攻（機械工学、電気電子工学、物質工学）が設置されました。そして、2012年度の改組に伴い1専攻（複合工学専攻）に統合されました。なお、複合工学専攻は次の4つの専門分野（工学系）から構成されています。



高専本科5年課程を経て、専攻科教育課程の必要な単位を修得し、本校の定める基準を満たせば、大学改革支援・学位授与機構から『学士（工学）』の学位が授与され大学学部卒業と同等となり、大学院への進学も可能となります。

また、2003年度からは、本科4、5年と専攻科を合わせた4年間の教育において、日本技術者教育認定機構（JABEE）対応の技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」を設定し、2005年5月にJABEE認定を受け2004年度修了生より適用されました。これにより国際的に認められた技術者として認定されることとなります。

## 2. 佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム

### (1) プログラム名

「複合型もの創り工学」

### (2) 育成しようとする自立した技術者像

グローバル化した社会において、高度化、複合化した工学分野の諸問題を解決して「もの創り」を行うために、各専門分野（機械工学、電気電子工学、情報工学、

化学・生物工学) について深い専門性を養いつつ、先進的な他の専門分野の知識と技術も身につける複合的な教育を行うことにより、複眼的な問題解決能力を備えた創造性豊かな、世界に通用する「もの創り技術者」を育成します。

### (3) 学習・教育到達目標

#### (A) 工学の基礎と専門

- 1) 数学(微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など)と自然科学(物理、化学など)の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること
- 2) 情報技術の基礎知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できること
- 3) 基礎工学の知識を身につけて、複合化した「もの創り」の実務における工学的諸問題の解決に応用できること
- 4) それぞれの専門分野における「もの創り専門工学」の知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること

#### (B) 地球的視点と技術者倫理

- 1) 他国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができること
- 2) 技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できること

#### (C) コミュニケーション能力

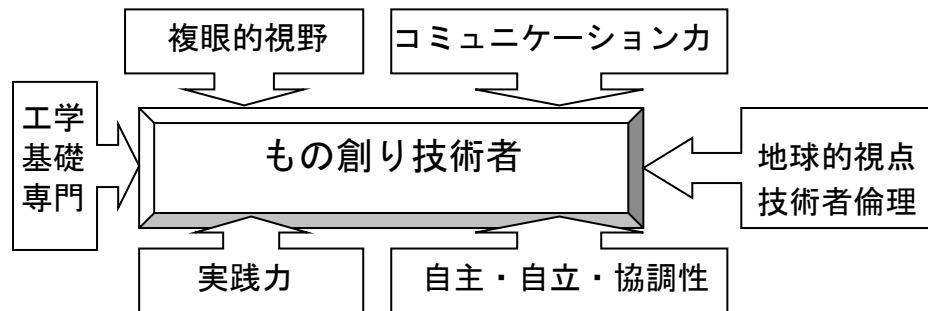
- 1) 技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できること
- 2) 相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができること
- 3) 英語による基礎的なコミュニケーションができること
- 4) 基礎的な技術英語の文章を読み書きできること

#### (D) 複眼的かつ実践的能力

- 1) 自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し、得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できること
- 2) いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できること
- 3) 社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできること
- 4) 実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること

#### (E) 自主・自立と協調性

- 1) 社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できること
- 2) 要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができること
- 3) 健全な心身を持ち、学内外の人々と協調して行動できること



#### (4) プログラムの構成

本科4、5年と専攻科の2年までの4年間で構成されています。（全学科及び全専門分野）

#### (5) プログラム履修者の決定

専攻科への入学をもって対象者と決定します。

#### (6) 認定対象学生

認定対象学生は、連携教育プログラム履修生以外の専攻科生全員です。

#### (7) プログラムの修了要件

本プログラムの修了要件の全てを満たした者に修了証書を授与します。

【佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」に関する規程抜粋】  
 第7条 本プログラムの修了要件は次の各号とし、全てを満たした者に修了証書を授与する。

- 一 本校の専攻科教育課程の必要な単位を修得すること。
- 二 大学改革支援・学位授与機構より、学士の学位を受けること。
- 三 本プログラムにおいて、124単位以上を修得すること。
- 四 付表に定める学習・教育到達目標とその評価方法および評価基準を満たしていること。

2 本プログラムの修了認定は、専攻科委員会において行う。

※付表・別表については、本校ホームページにてご確認ください。

#### (8) 出願資格と JABEE プログラム修了要件について

専攻科に入学した者は、連携教育プログラム履修生を除き、佐世保工業高等専門学校本科・専攻科「複合型もの創り工学」プログラムの履修者となります。しかし、本教育プログラムは、具体的には佐世保工業高等専門学校の本科4、5年生及び専攻科1年、2年のカリキュラム（2004年4月1日から施行）で構成されていますので、募集要項の出願資格に定める専攻科に入学できる者であっても、JABEE プログラムの修了要件を満たさない場合があります。

専攻科の入学試験合格者で、JABEE プログラム修了要件を満たさない場合は、専攻科入学後に補講等により、学力認定を受け、定められた基準を満たす必要があります。

① 佐世保工業高等専門学校卒業（見込み）者の場合

JABEE「複合型もの創り工学」プログラムに規定されている科目を専攻科入学前に履修しないで合格となった者は、入学後に補講等でこれらの科目を受講し、単位を修得する必要があります。

佐世保工業高等専門学校卒業生であっても、2003年3月以前の卒業生に対しては成績証明書、シラバス等で個別の審査を実施します。審査の結果、修了要件を満たさないと判定された場合は、補講等を受講し、学力認定を受け、定められた基準を満たさなければなりません。

② 佐世保工業高等専門学校卒業生以外の場合

佐世保工業高等専門学校以外で合格した者については、成績証明書、シラバス等の学習保証時間を証明することができる書類により履修科目を個別に審査します。審査の結果、本校と同等の科目・基準で修得したと認められない場合には、補講等を受講し、定められた基準を満たす必要があります。

※ 出願に先立ち佐世保工業高等専門学校学生課入試担当へ問い合わせることをお勧めします。

### 3. 産業数理技術者育成プログラム

※2020年4月入学生より、入学後に産業数理技術者育成プログラムのすべての科目群を修得した者が産業数理技術者育成プログラム修了学生となります。「連携教育プログラム」履修生は、「産業数理技術者育成プログラム」を履修することはできません。

#### (1) プログラム設置の背景

高度に発達し、さらにイノベーションを繰り返している工学技術において、数学的あるいは数理的に扱う課題はますます増大しています。例えば、その重要性は、以下のような分野で挙げられます。

- 1) 自動車、造船、航空機などの製造分野ではその設計に関して、様々な数値シミュレーションの積み重ねは不可欠ですが、そのもとになっているものは、すべて現象の数学モデルです。しかしながら、実際には多くの技術現場では、数学的知識の不足のためにその原理を理解することができず、主として海外のソフトウェアメーカーのパッケージに頼らざるを得ない現状にあります。そのことはまたパッケージ自体の効果的な活用上でも大きな障害となっていると予想していますし、実際に、このような声を、ものづくり現場からは何う機会が多数ありました。
- 2) 最近の 3 次元の切削加工では、複雑な空間認識が必要であり、その基礎技術では微分幾何学的な思考力が要求されます。
- 3) LSI 設計では、最適化理論や組み合わせ論は重要な役割を果たしています。
- 4) 金融工学やリスクマネジメントでは、確率統計的考察が必要であり、最近のビッグデータ処理においてもしかりです。

このように、ものづくり産業技術においては、自然・社会現象の数学モデルを組み立て、それを数理的・数値的に処理する手法が極めて大きな役割を果たしており、通常の工学技術に加えて、数学的理論を使いこなす力が、強く求められています。しかしながら、そのような要求条件を満たす数学的



能力は、現状の大学の工学部や高専 専攻科修了生では不十分であると考えております。

## (2) 佐世保高専の取り組み

このようなことから、佐世保高専 専攻科では、数学と工学との相互の関連性を総合的に理解し、それらの専門知識の融合を図り、産業界に貢献できる産業数理技術者の育成を目標とした具体的な教育内容として、

- 1) 従来から教育してきた専門工学分野(機械、電気電子、情報、応用化学)を修得させる。
- 2) さらに、産業数理分野で必要とされる産業数理系(数学系)科目を修得させる。

これにより、『専門工学分野』と『産業数理分野』の2本の基軸を有する専攻科修了生を育成します。

なお、産業数理技術者育成に関しては、2015年10月に九州大学マス・フォア・インダストリ研究所(IMI)と包括的連携協定を締結しました。今後は、その知見を共有し、教育・研究を推進して行きます。

## (3) 「産業数理技術者育成プログラム」の修了認定に必要な科目群 (必修科目を除く)

科目名	単位数	備考
位相数学	2	集合の初歩を含む
代数学概論	2	代数学の初歩、群・環・体
離散数学	2	グラフ理論
特別研究	8	産業数理に関する工学分野をテーマに取り組む

## 4. 専攻名及び入学定員

複 合 工 学 専 攻      1 6 名

## 5. 修了要件

専攻科に2年以上在籍し、所定の授業科目を履修し、64単位以上(一般科目17単位以上、専門基礎科目15単位、専門科目32単位以上)を修得していること。

## 6. 各専門分野（工学系）の内容

### （1）機械工学系

あらゆる産業の根幹をなす機械工学では独創的研究開発を展開するための基礎科学である固体力学、場の力学、粘性流体力学、熱流動工学、機械振動論などの力学関連の専門科目を中心に、機械要素の製造・制御に関連した製造システム論、精密加工特論、現代制御論を修得する。さらに、情報、バイオ、環境などの分野横断的な科目も修得することにより、先進的でシステムデザイン能力を有する技術者を養成する。

### （2）電気電子工学系

エネルギーや半導体技術の基礎となる電力・電子材料工学系科目を中心に情報・通信システムなど幅広い分野・領域の科目を修得し、産業界における設計・生産や研究開発分野の先進的な技術者として、多面的、かつ総合的に寄与できる基礎能力を涵養する。さらに、特別研究などを通じて、新規分野の開拓能力、高い問題解決能力を培い、システム創成能力を有する実践的技術者を養成する。

### （3）情報工学系

コンピュータ及びネットワークなどの情報技術系及びものづくりの基盤となる電子制御系の専門科目を中心に、環境、バイオなどの学際的な科目を修得し、複眼的な視点を身に付ける。さらに特別研究などにより、情報技術と電子制御の融合力、創成力を涵養する。これらの習得をとおして、情報技術に関する高度な専門知識を電子制御技術へ融合的に応用し、人にやさしい知的情報処理システムを創成できる研究開発型技術者を育成する。

### （4）化学・生物工学系

付加価値の高い素材・製品の研究開発と生産技術を中心とする化学工業の分野と、医薬品等の製造で実用化が図られている先端的バイオ技術分野にわたって幅広い高度な専門知識を修得する。さらに、特別研究などを通じて、環境・エネルギー問題への化学・生物学的見地から対処できる能力を養い、各種分析技術や材料開発を含めた関連の技術分野における開発・研究に従事できる創造的技術者を養成する。

## 7. 学士の学位の取得方法

本校は、学位の審査に関しては特例適用専攻科の認定を受けております。これにより、高等専門学校専攻科教育課程の必要な単位を取得し、本校の定めた基準を満たした場合、大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を取得できることになっています。

（参考）

「学位規則第6条第1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則」

[http://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/enkatsu/no7\\_1\\_H26tokurei\\_kisoku\\_28.3.31.pdf](http://www.niad.ac.jp/n_gakui/enkatsu/no7_1_H26tokurei_kisoku_28.3.31.pdf)

（独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構ホームページ）

## 8. 入学時に必要な諸経費

入 学 料	納付金額	84,600 円
授 業 料	納付金額（前期分）	117,300 円（年額 234,600 円）

※1 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※2 その他教科書代他として、約 35,000 円が必要です。

## 9. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度

どちらも経済的理由等に応じて全額から3分の1の範囲内で免除する制度があります。

また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められた場合は、徴収の猶予を許可する制度もあります。

## 10. 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構による貸与型・給付型の奨学金をはじめ、各市町村や各種団体等による様々な奨学金制度があります。本校 HP に情報を掲載しておりますので、必要に応じてご確認ください。

## 11. 教育課程

24 頁以降を参照してください。

# 専攻科教育課程

別表第3(第50条関係)

令和5年度入学以降  
一般科目及び専門基礎科目

授 業 科 目		単位数	標準履修年次	備 考	専攻の区分				連携教育 プログラム 認定科目			
					機械 工学	電気電 子工学	情報 工学	応用 化学				
					MI	MI	MI	MI				
一 般 科 目	必 修 科 目	日 本 語 表 現 法	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	
		総 合 英 語 I	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	◎me,ee,it,cb
		総 合 英 語 II	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	◎me,ee,it,cb
		応 用 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1	2年	△	△	△	△	△	△	△	
		線 形 代 数	2	1年	○	○	○	○	○	○	○	
		確 率 統 計	2	1年	○	○	○	○	○	○	○	
		必修科目修得単位数計	11									
	選 択 必 修 科 目	一 般 化 学	2	1年	○	○		○		○		
		離 散 数 学	2	1年	○	○	◎	○	○	○	○	
		選択必修科目開設単位数計	4									
		選択必修科目修得単位数計	2									
	選 択 科 目	国 際 協 力 論	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	
		対 外 交 渉 史 論	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	
		産 業 経 済 と 技 術 者 倫 理	2	2年	△	△	○	○	△	△	△	
		社 会 福 祉 論	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	
		選択科目開設単位数計	8									
		選択科目修得単位数計	4以上									
一般科目修得単位数計	17以上											
専 門 基 礎 科 目	必 修 科 目	技 術 者 総 合 ゼ ミ I	2	1年	○	○	○	○	○	○	○	◎me,ee,it,cb
		技 術 者 総 合 ゼ ミ II	1	2年	○	○	○	○	○	○	○	
		総 合 創 造 実 験	2	1年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎me,ee,it,cb
		総 合 創 造 演 習	2	1年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎me,ee,it,cb
		計 算 科 学	2	1年	○	○	◎	◎	◎	◎	○	◎me,ee,it,cb
		必修科目修得単位数計	9									
	選 択 必 修 科 目	現 代 物 理 学	2	1年	○		○		○		○	○me,ee,it,cb
		位 相 数 学	2	1年		○		○		○		
		機 能 材 料 論	2	1年	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○me,ee,it,cb
		環 境 論	2	1年	○		○		◎	◎	◎	○me,ee,it,cb
		代 数 学 概 論	2	1年	○	○	○	○	○	○	○	
選択必修科目開設単位数計	10											
選択必修科目修得単位数計	6											
専門基礎科目修得単位数計	15											
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計	42											
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計	32以上											

} 2単位以上修得  
} 4単位以上修得  
} 機械・電気・情報のMI履修者はいずれか2単位修得  
} 2単位修得  
} 4単位修得

専攻に係わる単位  
 専門的な内容の授業科目の単位(専門科目の単位)→◎で表示  
 専門に関連する授業科目の単位(関連科目の単位)→○で表示  
 専攻に係わる単位以外の単位→△で表示

必須→◎  
 選択→○  
 ※選択科目は4単位以上を選択すること

専攻	科目	授業科目	単位数	標準履修年次	系	備考	専攻の区分					連携教育 プログラム 認定科目		
							機械 工学	電気電 子工学	情報 工学	応用 化学				
							MI	MI	MI	MI	MI			
専攻	必修科目	特別研究	8	2年			◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		科学英語文献ゼミ	2	2年			○	○	○	○	○	○		
		固体力学	2	1年			◎	◎	○	○	○	◎	◎	○me,ee,it,cb
		生命科学	2	1年			○	○	○	○	○	◎	◎	○me,ee,it,cb
		情報基礎論	2	1年			◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎me,ee,it,cb
		必修科目修得単位数計	16											
	選択科目	研究基礎	4	1年	連携									◎me,ee,it,cb
		場の力学	2	1年	機		◎	◎						◎me
		粘性流体力学	2	1年	機		◎	◎						◎me
		精密加工特論	2	1年	機		◎	◎						
		機械振動論	2	1年	機		◎	◎						◎me
		画像情報工学	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		◎ee,it
		通信方式	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		◎ee,it
		電気エネルギー応用	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		◎ee,it
		触媒プロセス工学	2	1年	化生							◎	◎	◎cb
		工業分析化学	2	1年	化生							◎	◎	◎cb
		酵素工学	2	1年	化生							◎	◎	◎cb
		熱流動工学	2	2年	機		◎	◎						
		情報科学	2	2年	電情				◎	◎	◎	◎		
		知識情報工学	2	2年	電情				◎	◎	◎	◎		
応用物理化学	2	2年	化生							◎	◎			
無機工業化学	2	2年	化生							◎	◎			
選択必修科目開設単位数計	34													
選択必修科目修得単位数計	10													
							専攻に係わる単位 専門的な内容の授業科目の単位(専門科目の単位)→◎で表示 専門に関連する授業科目の単位(関連科目の単位)→○で表示 専攻に係わる単位以外の単位→△で表示					必須→◎ 選択→○ ※選択科目は4単位 以上を選択すること		

別表第4(第50条関係)

令和5年度入学以降

専門科目

授業科目	単位数	標準履修年次	系	備考	専攻の区分								
					機械工学	電気電子工学	情報工学	応用化学					
					MI	MI	MI	MI					
専 選 門 択 科 科 目 目	製造システム論	2	1年	機	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	ソフトウェア科学概論	2	1年	電情	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○
	電気回路特論	2	1年	電情	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○
	高分子工学	2	1年	化生	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
	植物学特論	2	2年	化生	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
	電気通信概論	2	1年	電情	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○
	流れ学	2	2年	機	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	破壊強度論	2	2年	機	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	現代制御論	2	1年	機	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○
	数値力学解析法	2	2年	機	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工業計測学	2	2年	機	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○
	メカトロニクス工学	2	2年	電情	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○
	材料科学	2	2年	電情	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○
	放電工学	2	2年	電情	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○
	電磁気学特論	2	2年	電情	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○
	生産システム工学	2	2年	電情	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○
	構造生物化学	2	2年	化生	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
	移動現象論	2	1年	化生	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
	有機化学特論	2	2年	化生	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
	インターンシップ	2	1~2年	共	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際研修Ⅲ	2	1~2年	共	各学年2単位 まで履修可									
国際研修Ⅳ	4	1~2年	共	各学年2単位 まで履修可									
イノベーション創成Ⅲ	2	1~2年	共	各学年2単位 まで履修可									
イノベーション創成Ⅳ	4	1~2年	共	各学年2単位 まで履修可									
選択科目開設単位数計	52	専攻に係わる単位 専門的な内容の授業科目の単位(専門科目の単位)→◎で表示 専門に関連する授業科目の単位(関連科目の単位)→○で表示 専攻に係わる単位以外の単位→△で表示											
選択科目修得単位数計	6以上												
専門科目開設単位数計	102												
専門科目修得単位数計	32以上												
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計	42												
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計	32以上												
開設単位数総計	144												
修得単位数総計	64以上												